

AOI TYO Holdings

第 2 期

Business Report

2018.1.1 — 2018.12.31

証券コード: 3975

如何なる時代にも対応できる、力強い企業体であり続けるために



代表取締役会長 CEO 吉田 博昭

AOI TYO HoldingsはAOI Pro.とTYOの経営統合により、メディアの売買をしない広告企画・制作会社としては国内業界最大の企業体となりました。年間CM制作数は2,000本以上に及び、皆様がテレビでよくご覧になるCMの3本に1本は私たちの作品です。

統合初年度であった2017年12月期は、注力してきたCM制作案件の利益率改善やソリューション事業の売上拡大などにより期初予想を大幅に上回る業績を達成した一方、2018年12月期は働き方改革やプリントレス等事業環境の変化の影響により厳しい決算となりました。

このような流れを受け、当社では2019年3月4日に中期経営方針を発表しました。

当社グループの強みは、長きにわたり映像を中心とするクリエイティブワークに従事してきた〈人材〉という資産です。この〈人材〉の力を最大限に活用し、如何なる時代にも対応できる、力強い企業体であり続けること——そのために、長年目指してきた規模の追求にこだわらず、〈規模より質〉の経営へと、大きく舵を切ります。

また、これまでの価値観が変わろうとしているこのような時代において、私たちは〈モノを大量に売るための広告作り〉だけにこだわっていることはできません。

これからは私たちの強みである〈人を感動させるクリエイティブな力〉を武器として、広告の領域にとどまらず、広く〈感動のビジネス化〉を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、どうかより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たちは、AOI TYO Holdings設立以降、ミッション〈新しい「心動かす」で、新しい価値創出をしつづける。〉の実現に向け、多様な事業パートナーとの協業、投資、M&Aなどをスピーディーに判断し、力強く進めてまいりました。長きにわたり軸としてきた映像制作事業の知見を様々なテクノロジーと掛け合わせ、ヒトがテクノロジーを活用し、ヒトが課題解決する、そうしたソリューション提供型のビジネスこそが、私たちの強みを生かした競争力あるビジネスだと考えています。

2019年12月期は新たな中期経営方針のもと、今後の経営戦略を軌道に乗せるための重要な1年と位置づけています。

引き続き事業環境の変化への対応や働き方改革を推進するための受注コントロールも必要であることから、むやみに規模の拡大は目指しません。周辺ソリューションの強化や海外展開に重点を置き、人材育成・採用を含めた将来への種まきを着実に行うことで、今後の安定的な収益につなげる経営を実行していきたいと考えています。

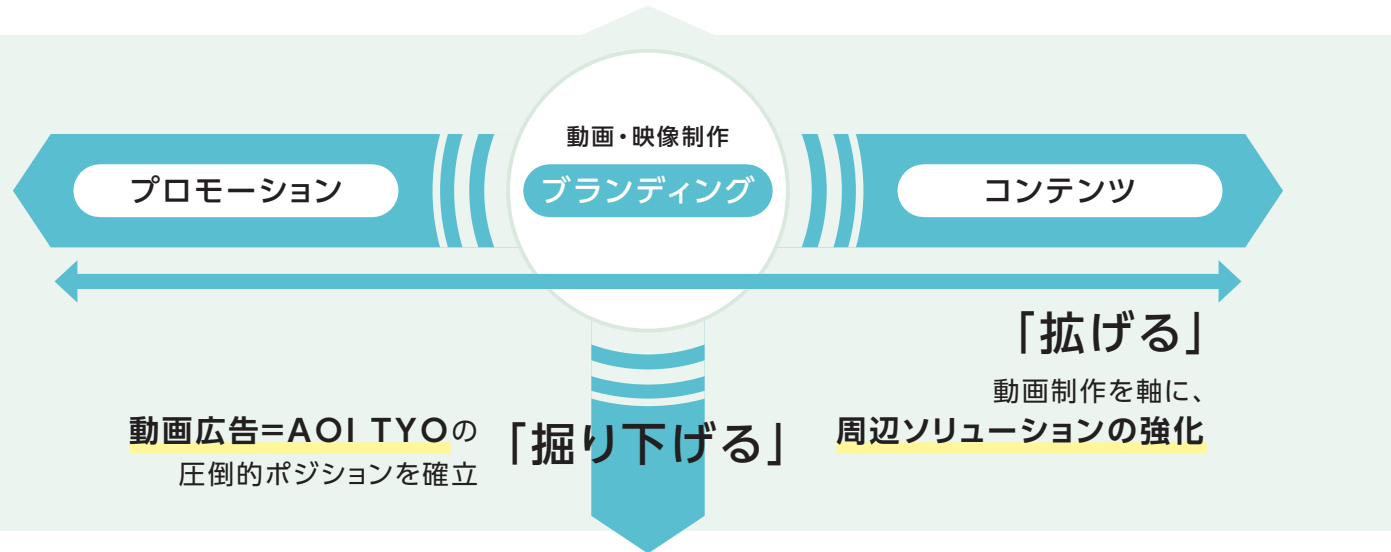
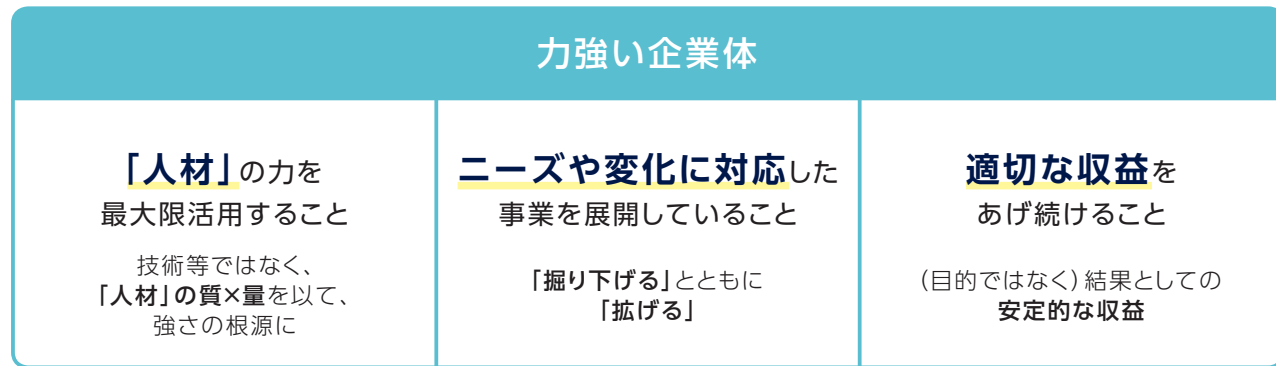
また、来るべき5G時代を見据え、エンゲージメントを高める高品質な動画広告のニーズに対応していくことで、動画広告＝AOI TYOグループという圧倒的ポジションの確立を目指してまいります。

AOI TYO Holdingsは、多様なステークホルダーの皆様の期待に応えるべくこれからも邁進してまいりますので、今後ともご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 COO 中江 康人

規模より質の経営へ方針を転換し、
如何なる時代にも対応できる、
力強い企業体であり続けることを目指します。



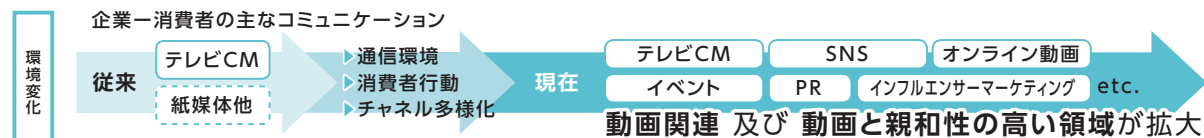
1 「掘り下げる」→動画広告の巻き取り

環境変化: オンライン動画 + 5G (ネットワーク) = 高単価動画の需要増加 / 動画ニーズの拡大

対応方針: 動画広告=AOI TYOの圧倒的ポジションを確立

- ▶ **ブランディング動画制作の巻き取り** @テレビCM制作市場: No.1企業として**残存者利益**を確保 @オンライン動画市場: **高単価映像**を中心に獲得
- ▶ **作る + 「届ける」** データ分析・活用で制作×届ける(配信)=最適化を実現
- ▶ **市場の囲い込み** 機能強化&外部連携で**包括受注**

2 「拡げる」→周辺ソリューションの強化



対応方針: 動画制作を軸に、周辺ソリューションの強化

- ▶ **コンテンツとしての動画を強化** 動画の制作・プロデュース能力の継続強化 → **動画コンテンツ関連の事業を強化**
- ▶ **外部取り込み** M&A及び資本提携 → **イベントやPR関連領域を中心に機能強化**
- ▶ **ビジネスモデルの多様化** 動画を活用したソリューションの開発等 → (広告受託に留まらない) **高付加価値なビジネスモデルの実現**

3 「人材」の育成・採用

- ▶ 統一的コミュニケーションを提案・実現可能な多くの人材
- ▶ 各コミュニケーション手法のプロフェッショナルが存在

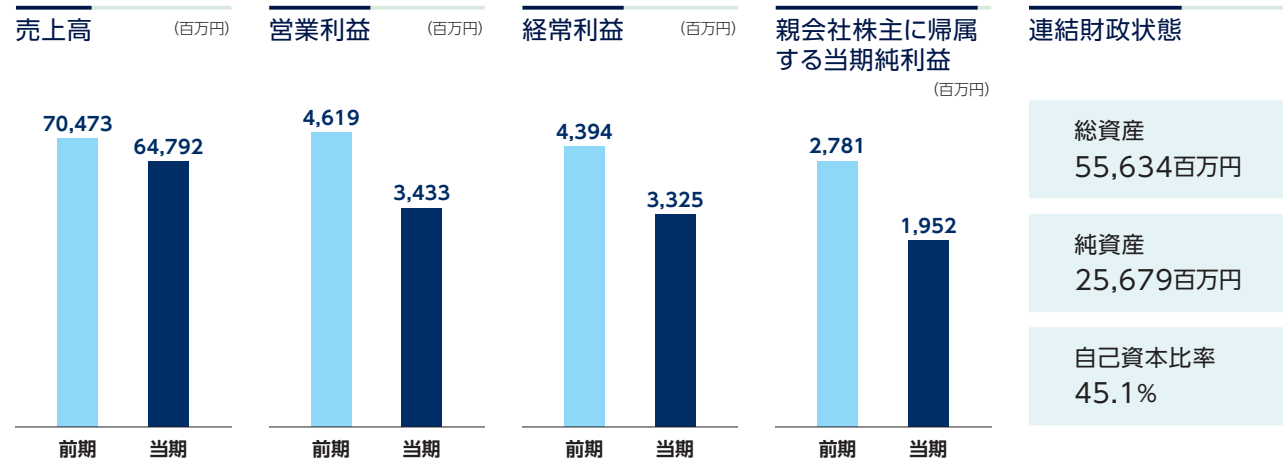
4 海外展開の強化

- ▶ 拠点間の連携強化により、「点」ではなく「面」としての動き
- ▶ 独自の「売り物」や合理的な資本構成に基づく、**強固な収益体制**

Consolidated Financial Highlights 連結業績ハイライト (2018年12月期)

POINT

- ▶ 採算性重視の収益管理徹底、働き方改革に伴う受注コントロール、プリント売上の減少等により、売上高は前期比減少
- ▶ 実行利益率^(※1)は改善し、営業利益の減少は限定的



※1 実行利益率=(売上高-外部支出原価)/売上高
 ※2 前期:2017年12月期、当期:2018年12月期

配当金について

当期の配当につきましては、期初予想どおり1株当たり年間30円の配当を実施いたします。

当社は連結配当性向30%以上を配当政策の方針としており、当期の連結配当性向は36.4%となります。また、当期は総額531百万円の自己株式取得を行っており、連結配当性向にこれを加味した総還元性向は64.5%となります。

次期の配当予想につきましては、業績予想を鑑み、当期より10円減配した、1株当たり年間20円といたします。

また、2019年3月から2020年2月にかけて上限600百万円または50万株の自己株式取得を決定しており、引き続き株主価値向上を目指してまいります。

| | 1株当たり配当金 | 配当性向 |
|---------------|----------|-------|
| 2018年12月期 | 30円 | 36.4% |
| 2019年12月期(予想) | 20円 | 36.4% |

Consolidated Earnings Forecast 連結業績予想

2019年12月期(次期) 通期連結業績予想



2019年度の広告費合計は前年度に比べて横ばいになると予測されていますが^(※1)、ネットを中心としたデジタルメディアなど媒体の多様化・技術革新や、スマートフォン・タブレットなどに代表されるデバイスの多様化により、動画広告を取り巻く事業領域は、その手法や構造の変化を伴いながら徐々に拡大していく傾向が続くと見込まれます。

そのような環境下で、動画広告制作においては、従来からのテレビCM制作市場では、No.1企業として中長期的に安定的な収益を確保していくとともに、オンライン動画市場では比較的高単価なブランディング動画を中心に拡大を図ります。また、成長領域と位置づけてきた広告主直接取引や動画コンテンツマーケティングなどを軸に周辺ソリューションの強化と事業領域の拡大、東南アジアを中心とする海外事業の強化・拡大、そのための人材育成・採用を含めた先行投資を続けていく方針です。

一方で足元では、2017年10月のテレビCMに

おけるプリントレス化^(※2)スタートから段階的に減少しているCMプリントの売上高が、さらに減少するものと予想されます。

前期から当期にかけて、主力の広告映像制作事業では、すでに案件受注段階からの厳格な精査・選別、売上原価管理の徹底等、採算性重視の営業管理体制構築を進めており、実行利益率が大きく改善しています。次期においても、業界全体としての取り組みも含め、さらなる改善の余地を見込む一方で、売上高については働き方改革を推進するための受注コントロール等も引き続き必要であること等から、大幅に増加させることはしない方針です。

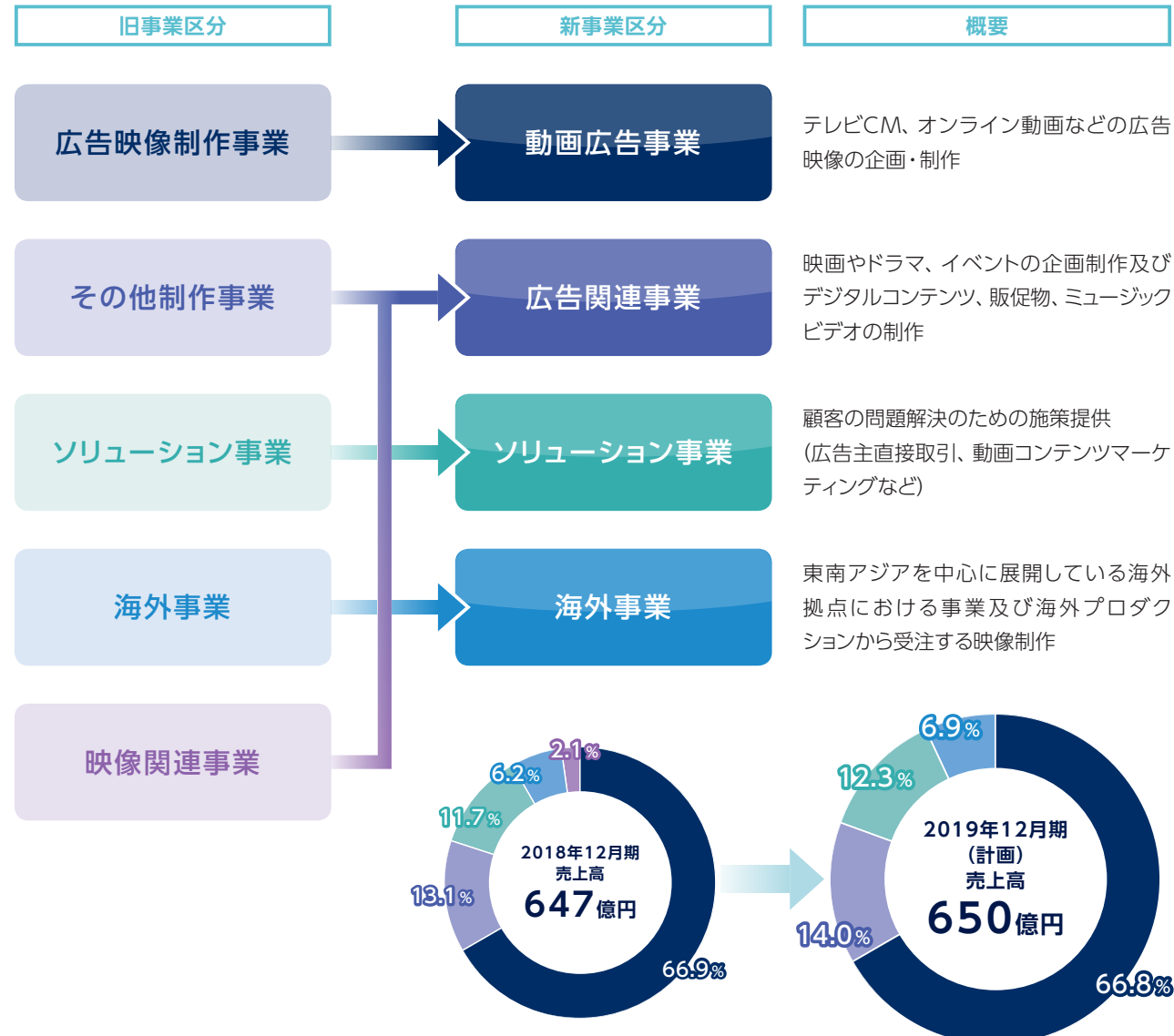
結果として、グループ全体では、上記の戦略的な先行費用の支出やプリントレス化の影響もあり、当期に続き次期までは営業利益は減少するものと予想しております。

以上を踏まえ、次期の連結業績の見通しは、上表のとおりとなります。

※1 「2019年度の広告費予測(概要版)」(日経広告研究所)によります。

※2 従来、各放送メディアへ入稿するためにテレビCM素材を記憶媒体へ複製(プリント)して納品しており、それにかかる売上・利益が計上されていましたが、2017年10月以降、オンラインデータ送稿へ段階的に移行するため、プリント売上が減少しております。

当社グループでは、中期経営方針策定にあわせ、事業区分・名称を下記のとおりいたしました。



AOI Pro.

スペシャルオリンピックス日本の大会ハイライト映像を制作



スペシャルオリンピックス日本は、知的障がいがある人たちのスポーツを通じた社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。グループ会社のAOI Pro.はナショナルパートナーとして、2013年から映像制作を通じて協賛しており、2018年度は、9月開催の「第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」大会ハイライト映像をグループ会社のシースリーフィルムとともに制作。AOI Pro.の支援活動に対し、12月には有森裕子理事長より感謝状をいただきました。今後も、事業領域である映像制作を通じてスペシャルオリンピックス日本の活動を支援していきます。



Quark tokyo

バーチャルキャラクター動画生成スマホアプリ「Virtualoid」サービス開始

バーチャロイド

グループ会社のQuark tokyoは、バーチャルキャラクター動画生成スマホアプリ「Virtualoid」を開発し、2018年11月にVirtualoid製作委員会より発表しました。「Virtualoid」はスマホひとつでバーチャルキャラクターの作成から動画の制作、編集ができる企業向けの情報発信動画作成アプリケーションです。企業や地方自治体、ニュースメディアの情報発信に導入することで、人や設備といったリソースの大幅な削減を実現するとともに、SNS時代の情報発信を格段にスピーディーかつ効率的にすることが可能です。2019年3月に開催した当社の機関投資家向け決算説明会では、「Virtualoid」を導入し、進行の一部をバーチャルキャラクターが務めました。



Works
制作実績 / AOI Pro.

※著作権保護のため、作品画像のWEB掲載はしていません。

KDDI au
春のトビラ「一緒にいこう」

資生堂ジャパン マキアージュ
「くずれ防止下地」

大塚製薬 カロリーメイト
「心の声」

ユニクロ ワイヤレスブラ ビューティーライト
「新登場」

トヨタ自動車 トヨタタイムズ
「トヨタタイムズ はじめます。」

ソニーマーケティング ヘッドホン
「アクティブ・ワイヤレス 米津玄師」



©2018「万引き家族」製作委員会

映画「万引き家族」 / AOI Pro. 出資・制作

是枝裕和監督作「万引き家族」(2018年6月8日全国公開)は、「第71回カンヌ国際映画祭」の最高賞であるパルムドールを受賞。「第42回日本アカデミー賞」では、最優秀作品賞をはじめ計8冠の最多受賞となりました。



©2019「夜明け」製作委員会

映画「夜明け」 / AOI Pro. 出資・制作

柳楽優弥さん主演、小林薫さんが共演し、是枝監督の愛弟子・広瀬奈々子監督の長編デビュー作である本作(2019年1月18日全国公開)。「第19回東京フィルメックス」コンペティション部門でスペシャル・メンションを受賞しました。

Works
制作実績 / TYO

※著作権保護のため、作品画像のWEB掲載はしていません。

日本瓦斯 ニチガスでんき
「ウエディングパーティー 変身」

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン
パンテーン「#1000人の就活生のホンネ」

日本製紙クレシア クリネックス
「新垣先生と園児たち」

タイガー魔法瓶
炊飯ジャー炊きたて「しあわせな食卓」

エバラ食品工業
なべしゃぶ「登場」

ビズリーチ
「ビズリーチからきた男」

東海旅客鉄道 そうだ 京都、行こう。
2018年 秋「一休寺」

NEWS

Netflixオリジナルシリーズ
『リラックマとカオルさん』
2019年4月19日より全世界配信開始 / TYOドワーフ

TYOドワーフが制作・プロデュースを手掛ける『リラックマとカオルさん』は、2019年4月19日からNetflixで世界独占配信されます。同作は人気キャラクター「リラックマ」初のアニメーションシリーズで、脚本に荻上直子さん、リラックマと同じアパートで暮らすOLの「カオルさん」の声優に多部未華子さんを迎え、誰もが楽しめるストーリーへと映像化しています。



©2019 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

AOI TYO Holdings

広告コンテンツの戦略立案・企画・制作を行う
AOI Pro.とTYOの共同持株会社

URL <http://aoityo.com/>

連結子会社 全35社 連結従業員数 1,657名

AOI Pro.

テレビCMを中心とした映像プロダクション

URL <http://www.aoi-pro.com/>

連結子会社 全21社 (AOI Pro.含む) 連結従業員数 862名



広告会社機能と制作プロダクション機能を併せ持つ、クリエイティブエージェンシー

URL <http://group.tyo.jp/>

連結子会社 全14社 (TYO含む) 連結従業員数 795名

主な子会社

動画広告事業



株式会社シースリーフィルム
<http://www.c3film.co.jp/>



株式会社ワサビ
<http://www.wasa-be.co.jp/>



株式会社デジタル・ガーデン
<http://www.dgi.co.jp/>



株式会社メディア・ガーデン
<http://www.media-garden.co.jp/>

広告関連事業



株式会社大日
<http://www.dai-nichi.co.jp/>



株式会社ティー・ケー・オー
<http://www.tkonet.jp/>

Quark tokyo

株式会社Quark tokyo
<http://www.quark.tokyo/>

SOOTH

SOOTH株式会社
<http://www.sooth.co.jp/>

ソリューション事業

海外事業



Directors Think Tank Sdn. Bhd.
<http://thethinktank.tv/>

AOI Asia Beijing

北京奕友广告有限公司
<http://www.aoiasia.cn/>

AOI Asia Indonesia

PT. AOI ASIA INDONESIA

AOI Asia Thailand

AOI ASIA THAI CO., LTD.

主な子会社

動画広告事業



株式会社TTR
<https://www.ttr-inc.co.jp/>



株式会社ルーデンス
<http://www.ludens.co.jp/>

TYO
DIGITAL
WORKS

株式会社TYOデジタル・ワークス
<http://tyo-dw.jp/>



株式会社ケー・アンド・エル
<http://www.klt.co.jp/>

広告関連事業



株式会社ゼオ
<http://www.zeo.co.jp/>



株式会社ペッププランニング
<http://www.pep-p.co.jp/>

TYOPR

株式会社TYOパブリック・リレーションズ
<https://tyopr.jp/>



株式会社祭
<http://www.mazri.com/>

海外事業



K&L CREATIVE ASIA PTE. LTD.



凱立広告(上海)有限公司
<http://www.klads.com.cn/>



K&L ARMS COMMUNICATION PVT. LTD.

※連結従業員数は2018年12月31日現在のものです。

※連結従業員数は2018年12月31日現在のものです。

※連結会計基準により、連結の範囲に含んでいるAd Hack Ventures有限責任事業組合は、当社及びTYOの連結子会社数には含んでおりません。

※TYOでは、TYOオファリングマネジメント部門にてソリューション事業を手掛けております。

株主メモ

| | |
|-----------------------|--|
| 事業年度 | 1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 基準日 | 定時株主総会 12月31日 期末配当 12月31日 中間配当 6月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人及び 特別口座管理機関 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 (コード：3975) |
| 公告方法 | 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL http://aoityo.com/ja/ir/publicnotice.html |

メール配信

当社の最新のIR情報をEメールにてタイムリーにお知らせするサービスです。
下記よりご登録いただけます。

<http://aoityo.com/ja/ir/irmail.html>

※携帯電話用メールアドレスでの登録はできません。



AOI TYO Holdings株式会社

141-8580 東京都品川区大崎1-5-1 大崎センタービル5階
03-6893-5005 (代表)
<http://aoityo.com/>

